

# 東北地方 1か月予報

( 11月27日から12月26日までの天候見通し )

平成16年11月26日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

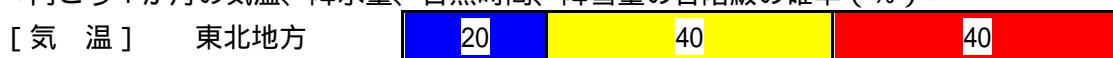
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となりますが長続きしないでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

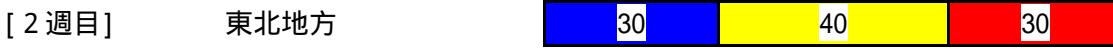
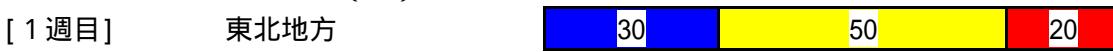
週別の気温は、1週目、2週目は平年並、3～4週目は平年並か高いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 11月27日(土)～12月26日(日)

1週目 : 11月27日(土)～12月3日(金)

2週目 : 12月4日(土)～12月10日(金)

3～4週目 : 12月11日(土)～12月24日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報 : 毎週金曜日 14時30分 次回は12月3日

3か月予報 : 12月22日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	4.0	44.8	134.0	0	5.7	4.7	3.1
新庄	1.9	206.5	37.1		3.7	2.6	1.0
若松	2.5	81.8	70.8	63	4.1	3.0	1.6
深浦	3.0	130.4	35.5	39	4.7	3.6	2.1
青森	1.9	143.9	55.3	151	3.7	2.5	0.9
むつ	1.8	95.1	73.4		3.5	2.4	0.8
八戸	2.2	41.3	124.6	7	4.0	2.9	1.3
秋田	3.3	165.4	47.8	43	5.0	3.9	2.4
盛岡	1.3	67.4	100.6	36	3.0	2.0	0.4
宮古	3.6	45.2	145.8	0	5.2	4.2	2.7
酒田	4.8	207.2	44.2	26	6.4	5.5	4.0
山形	2.9	78.8	82.3	52	4.5	3.6	2.0
仙台	4.9	28.6	139.0	7	6.5	5.5	4.0
石巻	3.9	28.2	148.6		5.6	4.6	3.0
福島	4.7	34.6	125.8	15	6.3	5.3	3.9
白河	3.3	31.2	151.7		4.9	3.8	2.5
小名浜	6.6	42.9	176.5	0	8.1	7.1	5.8

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.5	81~100	97~103	61~109
東北日本海側	-0.4~+0.5	92~107	91~108	70~114
東北太平洋側	-0.3~+0.5	68~105	97~105	50~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.7	-0.6~+0.6	-0.5~+0.6
東北日本海側	-0.8~+0.7	-0.7~+0.7	-0.5~+0.6
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.6~+0.6	-0.4~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。

階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成16年11月26日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(11月27日~12月26日):

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となります。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(11月27日~12月3日):

寒気や気圧の谷の影響で、東北日本海側を中心に曇りや雨の日が多いですが、東北太平洋側では晴れる日が多いでしょう。なお、明日(27日)は発達した低気圧の影響で、大荒れの天気となり雪の降る所もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(12月4日~12月10日):

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(12月11日~12月24日):

低気圧が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となります。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

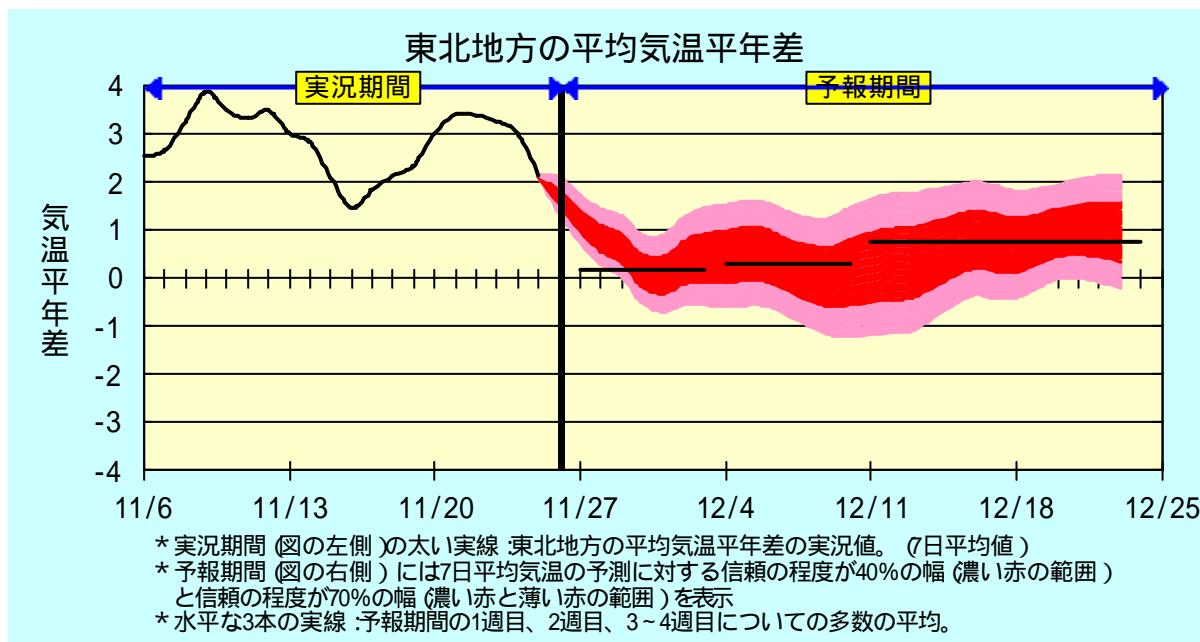
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	4.7日	1.4日	1.2日	2.1日
東北太平洋側	16.6日	4.1日	4.1日	8.4日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目を「平年並」、3~4週目を「高い」と予測している。予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

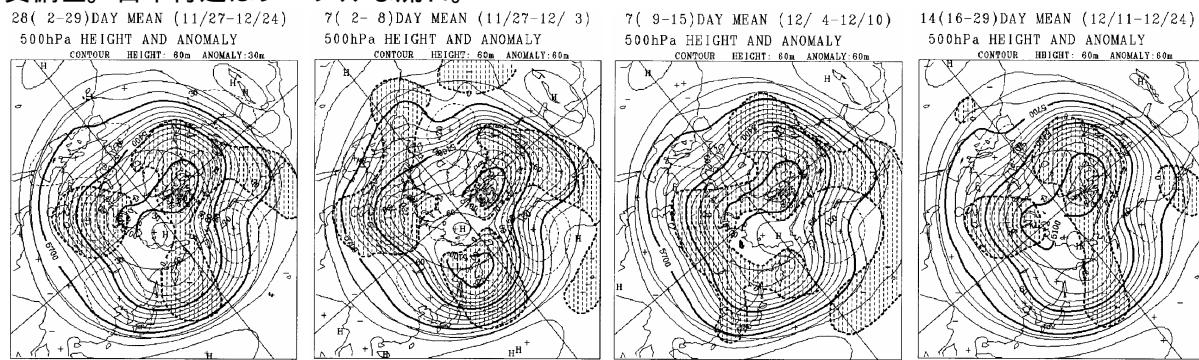


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、カムチャツカ半島付近が負偏差で、中国東北区付近には正偏差があって日本付近は東谷傾向。

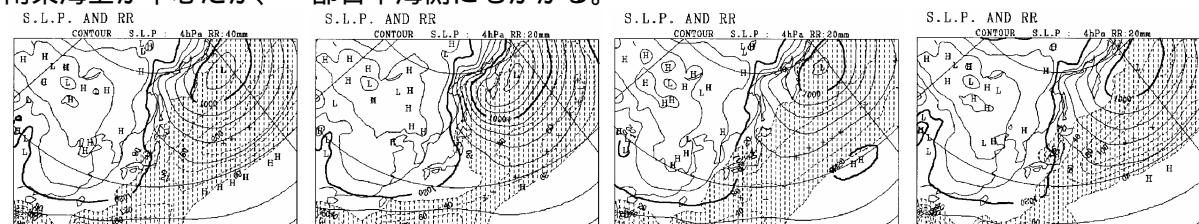
1週目は、カムチャツカ半島付近を中心を持つ負偏差が日本の東海上に広がり、北海道の一部がかかる。2週目は、カムチャツカ半島付近の負偏差は変わらないが、中国東北区から東シナ海にかけては谷場で負偏差。3~4週目は、日本付近全体が正偏差に覆われるが、北日本の東海上は負偏差。日本付近はゾーナルな流れ。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、アリューシャン低気圧やシベリアの高気圧は平年より強いが、日本付近は北日本中心の冬型。低気圧は数日の周期で通過し通過後は冬型の気圧配置となるが長続きしない見込み。

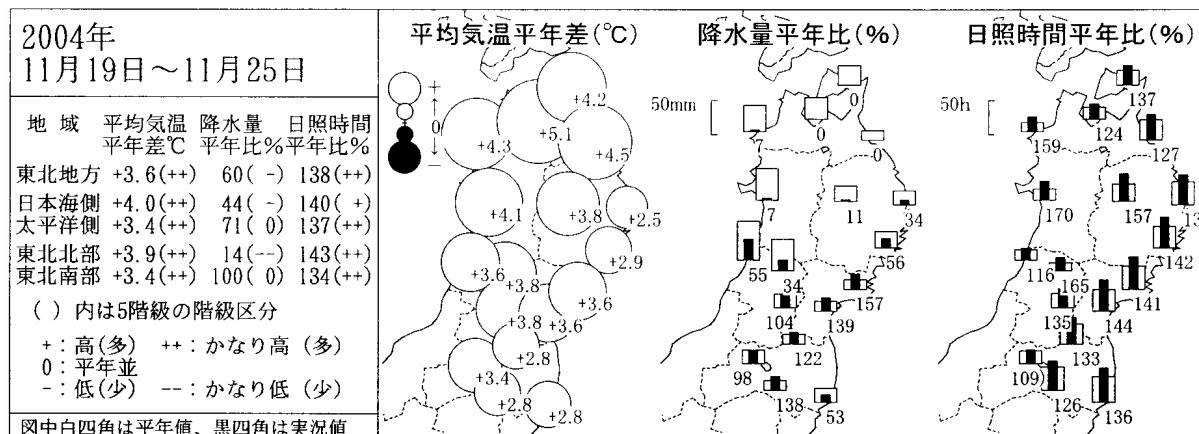
1週目は、日本付近に大陸の高気圧が張り出して冬型の気圧配置。2週目は日本の東海上も高圧部となり、冬型の気圧配置は緩む。3~4週目は、北日本中心の冬型の気圧配置。降水域は日本の南東海上が中心だが、一部日本海側にもかかる。



### 4. 最近1週間（11月19日～11月25日）の天候の経過

この期間、低気圧と移動性高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は一時冬型の気圧配置となつた。このため、東北日本海側では曇り日が多く南部を中心に雨となつたが、東北太平洋側では晴れの日が多くなつた。なお、24日は若松で初氷が観測されたが、これは1990寒候年と並んで統計開始以来最も遅い記録だった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)